

七月例会御案内 (平成二十九年・通算第三六六回)

時代を刷新する会

○御案内

七月十四日(金) 正午～午後二時半 参議院議員会館 地下一階・B-10六会議室

議題 北朝鮮の核・ミサイル性能と韓国新政権の状況! 講師 高永喆(コウヨン Chol) 先生(拓殖大学客員研究員、元韓国国防総省北朝鮮分析官)

◎北朝鮮は、十年も前から核実験・核弾頭化を進め、特に近年、その運搬手段たるミサイル開発で、かなりの進歩を遂げています。以前は三百～五百kmの短距離ミサイルでしたが、一千～五千kmのノドン級やムスダン級の中距離ミサイルへと進み、近年では六千～一万km以上のテポドン級長距離ミサイルの開発に成功したとみられています。

□当日会費 会員四千元、非会員五千元 午前十一時半から入館可能です。(清原記)

□「時代を刷新する会」とは、
趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。

時代を刷新する会 当日連絡先 080-8836-6203 重田

七月十四日(金)の月例会に <http://www.jidaiassinn.jp> (通話のみ)

080-9292-2620 高津

出席 欠席 (いずれかに○印を)

御芳名 貴方様のFAX

メール

▽七月十二日(水)までに出欠の御連絡賜りたく

○御報告

去る六月十三日(火)の月例会は、いま世界は、熱い戦争ばかりではなく、インターネットを中心とする電磁通信を妨害するサイバー攻撃が横行しており、大きな経済的被害が出ています。またそれは、同時に安全保障上からも大きな問題になっています。すでにサイバー攻撃の被害は日本にも現れており、その攻撃の多くは北朝鮮からのものといわれています。わが国も、そうした「インテリジェンス(情報・諜報)」「戦術・戦術について認識しておく必要があります。お招きし、御解説をいただきました。その内容は多岐にわたるので、そのすべてを記すことはできませんが、その要点を記すと、北朝鮮による情報工作としては、1987年の大韓航空機爆破事件、日本国へ侵入しての日本人拉致事件、1983年のビルマ訪問中の全斗煥韓国大統領暗殺を狙ったラングーン事件、そして、マレーシア空港での金正男暗殺事件等々があり、その工作機関としては、朝鮮労働党に属する統一戦線部、軍と党に属する偵察総局、内閣と党に属する国家保安省などの機関がある。サイバー攻撃・テロについても、偵察総局の中に180部隊・技術サイバー局があり、小学校で算数の得意な子供を集め、徹底教育し、サイバーテロを養成している。方より技術が高い。これからの世界は、情報工作の強い国が世界を制する時代である。しかし、日本は諜報工作やサイバー攻撃への対策が遅れている。日本人も早く目覚めてほしい。(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは、

趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。

第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元参議院議長。第四代・塩川正二郎元文部大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として江口一雄元参議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・外務副大臣が就任しております。岸信夫衆議院議員は、当団体の創立者・岸信介元総理の直系の孫に当たります。

▽事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介